

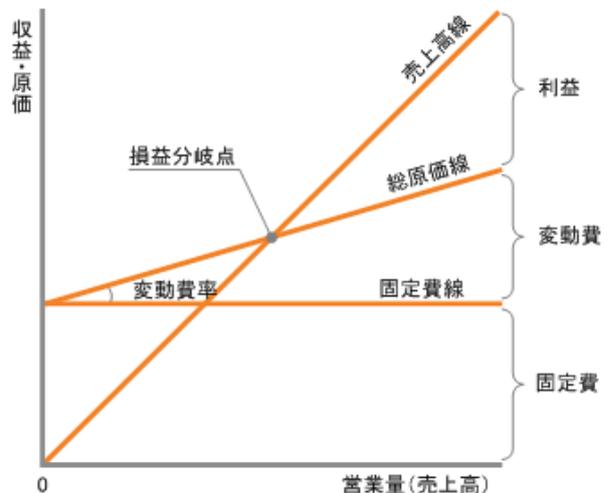
損益分岐点の計算練習

～ 利益図表を使った分析のしかた ～

損益分岐点とは、利益も損失も発生しない売上高のことをいいます。

企業は、営業活動を行う上で、いろいろな経費がかかりますが、「固定費」と呼ばれる家賃や地代、機械類の減価償却費など売上高の多い・少ないに関係なくかかる費用と、「変動費」と呼ばれる、原材料費や水道光熱費など売上高に応じて増減が発生する費用に分けることができます。

そこで、企業では、採算性を検討する際に、右のような利益図表を作成して、損益分岐点を計算します。



損益分岐点の売上高（P）は、

$$P = \frac{\text{固定費}}{1 - \frac{\text{変動費}}{\text{売上高}}}$$

の式で計算することができます。

では、実際に計算してみましょう。

例題)

固定費 200,000 円、変動費は商品 1 個につき 1,000 円、販売価格 1 個 2,000 円
のときの損益分岐点はいくらでしょうか。

下のような表にしてみると、ここでは、200 個が損益分岐点であるとわかります。

売上個数	固定費	変動費	利益
0 個	200,000 円	0 円	-200,000 円
100 個	200,000 円	100,000 円	-100,000 円
150 個	200,000 円	150,000 円	-50,000 円
200 個	200,000 円	200,000 円	0 円
250 個	200,000 円	250,000 円	50,000 円

また、 $200,000 + 1,000X = 2,000X$ という X を使った計算式でも算出することができます。